

【荷造り】

出発前に留学に持って行くものを実際に荷造りしてみましょう。もしかすると荷物が多すぎて、持参物の見直しをしなければならないかもしれません。不要なもの、代用できるもの、現地で購入できるものを考え、機内預け入れ荷物（スーツケース）1個と、機内持ち込み手荷物1個にまとめてください。それ以上の荷物は後で日本から送ってもらうか、現地で購入するようにします。

※一般的にアメリカ線の場合、機内預け入れ荷物は1個23kgまでのスーツケース2個までです。しかし航空会社により規定が異なることがありますので、航空会社の決定をお待ちください。



機内預け入れ荷物（スーツケース）	機内持ち込み手荷物
<ul style="list-style-type: none"> ◆スーツケースは衝撃などに対する頑丈さと持ち運びのしやすさを考慮して選びましょう。 ◆アメリカ行きの飛行機では、スーツケースに鍵はかけないでください。不安な方はスーツケースベルトをお勧めします。尚、TSAロックシステムを利用したスーツケースの場合でも、ロックしないようにしてください。無理矢理開けられてロックが使えなくなることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆中の物を落としたり盗まれたりしないよう、ファスナーなどのついたかばん（軽くて肩にかけられるリュックやショルダーバッグ）が便利でしょう。 ◆通学時などに使うかばんと兼用されると良いでしょう。
<ul style="list-style-type: none"> ◆各航空会社が規定を設けています。通常3辺の和が150-200cm以内、総重量が20-23kg以内というような制限が一般的です。 ◆国内線ご利用の方は、国際線利用航空会社の規定ではなく、国内線の規定となりますのでご注意ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆機内収納スペースの関係で、3辺（タテ×ヨコ×高さ）の合計が115cm以下で、総重量10kg以下のもの1個というような制限が一般的です。
<ul style="list-style-type: none"> ◆スーツケースに入れるべき物 衣類、洗面用具、タオルなど、機内で使わないもの 刃物類（カッター・はさみなど） ◆入れてはいけない物 ×パスポート ×お金 ×貴重品/パソコン ×こわれやすいもの ×リチウム電池・モバイルバッテリー 	<ul style="list-style-type: none"> ◆持ち込み手荷物に入れるべき物 ○パスポート ○お金 ○貴重品/パソコン ○滞在先住所など ○薬（機内で使う分だけ） ○カメラ ○筆記用具 ○リチウム電池・モバイルバッテリー ◆入れてはいけない物 ×刃物類（カッター・はさみなど） ×規定以上の液体類

【液体物の機内持ち込みについて】

液体・ジェル・エアゾール類で機内でどうしても必要な場合は、100ml以下の個々の容器に入れ、合計で1リットル以下（1000ml）になるようにし、無色透明のジッパー式ビニール袋に入れて手荷物検査時に検査員に示してください。

縦横合計40cm以内 容量合計は1リットル以下



【液体・ジェル・エアゾールに該当するもの（例）】

飲み物・歯磨き粉・ジェル状リップクリーム（スティック状は除く）・ハンドクリーム・化粧水・虫除けスプレー・ヘアスプレー・日焼け止めスプレー・香水・軟膏など

【液体物の対象だが例外扱いされるもの（例）】

液状風邪薬・目薬・コンタクトレンズ保存液・使い捨てコンタクトレンズ・熱冷ましシート・乳児用飲料など

※上記は、機内で必要となる量に限って持ち込めます。「医薬品」として検査員に申告するか（ビニール袋には入れなくてよい）または、100ml以下の個々の容器に入れ、他の液体物と同じビニール袋に入れることにより、検査員に申告せずに持ち込むことが可能です。

【対象外となるもの（例）】

ウェットティッシュ・拭き取りクレンジング紙・保湿パック・ボールペン・万年筆など

※上記は、持ち込む量に制限がなく、申告の必要もありません。